対象：乳児と乳児をもつ保護者

時間：９０分程度

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ねらい | ○　乳児の成長の特徴を知り、赤ちゃんとの生活や関わり方のヒントを得る。  ○　人との関わりや自然との触れ合い、遊びなどの中で成長する大切さを知るとともに、  電子メディアの影響について学ぶ。  ○　親同士がつながり、子育ての仲間を得る。 | | |
| 実施のポイント  （評価など） | ○　育児の不安解消、学び合い、情報交換、仲間づくりの場にすることができる。  ○　人との関わりや自然との触れ合い、遊びなどの大切さと、電子メディアの長時間接  触の影響などについて考えることができる。 | | |
| 事前準備 | ○　筆記用具　○　ワークシート　○アンケート用紙（必要に応じて）  ○　ＢＧＭ（受付中や待ち時間にリラックスできるもの）  ○　名札　　○　資料　　○　地域の情報紙　　○　紹介するおもちゃ  ○　マット（赤ちゃんも一緒に輪になれるようなもの） | | |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| 20分  **導 入** | ・ワークの趣旨説明  ・名札づくり  ・３つの約束  ・アイスブレイク | ・名前とニックネームを書いてもらう。  ・ファシリテーターが自己紹介をする  ・赤ちゃんの誕生日順に並び替える。  ・参加者が自己紹介をする。  （名前、赤ちゃん月齢等）  ・赤ちゃんの名前の由来を紹介する。  （２～３人に聞く）。 | 名札  ３つの約束 |
| 15分  **展 開** | **ワーク1**  ・赤ちゃんがどんな時に泣くかをみんなで出し合う。  ・資料を一緒に読む。 | ◎乳児の成長の特徴に気付くことをねらいとする。  ・日常生活の身近な場面を話題に出しながら、話がしやすい雰囲気で進めていく。 | ワークシート  資料１ |
| ‬‬‬‬20分 | **ワーク2**  ・日常に行っているふれあい遊びを互いに紹介し、みんなで一緒に体験する。  ・時間に余裕があれば、おもちゃについて紹介する | ◎赤ちゃんの心を育てる遊びについて気付くことをねらいとする。  ・ふれあい遊びを楽しみながら、親子の信頼関係がはぐくまれることを伝える。  ・遊びがなじむように、何度か繰り返し体験する。  ・参加者からも、おすすめのおもちゃがあれば紹介してもらい、情報交換を行う。 | ワークシート  紹介するおもちゃ |
| ‬‬‬‬25分 | **ワーク3**  ・それぞれの家庭でどのくらい視聴しているかを出し合う。  ・資料を読み、感じた  　ことやこれから何を  するかなどを話し合  う。  ・地域の子育て支援情  報、子育てひろばなどの情報交換を行う。 | ◎電子メディアの影響について気付くことをねらいとする。  ・資料から、電子メディアの長時間接触が子どもに与える影響について気付くようにする。  ・どんな時に見てしまうかを話し合い、各家庭の状況を把握し、親の気持ちに寄り添いながら話を進めていく。  ・家の中で過ごす時間が長くなると、つい電子メディアに頼ってしまうので、どんな過ごし方があるかアイデアを出し合う。また、子育て支援施設などの活用を提案し、参加者同士で具体的な施設を紹介し合うよう促す。 | ワークシート  資料２  地域の情報紙 |
| 10分‬  **まとめ** | **ふりかえり**  ・今日の学習をふりかえる  ・気付いたことや、これからできそうなことを一人一言ずつ話す。 | ・参加者全員に一言ずつ感想を述べてもらい、全体で共有する。  ・可能であれば、参加しての感想を記入してもらう。 | ワークシート |